# 誰もが安心の年金制度を
## 年金者組合東部支部が総会

10日(土)サンライフ松江において、全日本年金者組合島根県本部東部支部の総会が開かれ「誰もが安心して暮らせる年金制度の確立をめざそう」と熱心に討論がされました。

総会で挨拶する橘執行委員長

全日本年金者組合は、全国で10万人を超える組合員を持ち、９４５の支部が、各地で日本の革新運動の一角を担い運動を進めています。

総会では、近藤修書記長が運動方針案を説明、岸田政権による大軍拡・戦争への道がおしすすめられ、医療・福祉の後退で高齢者の暮らしがおびやかされている情勢を報告しました。

新年度の運動方針▽「年金引き下げは憲法違反」と取り組んでいる年金裁判を高裁で闘うこと▽物価の高騰と年金の目減りの中で、豊かな高齢期を迎える運動を仲間を増やして広げる▽高齢者の負担増に反対し、社会保障の充実、補聴器補助を進める▽原発再稼働反対や、日本を戦争する国にさせないためにも、市民と野党の共闘を進める▽女性部やレクレーション活動など、役に立ち、楽しい年金者組合にしていく、などが報告、討論ののち満場一致で承認されました。

新役員として執行委員長・橘祥朗、副委員長・松本都子、書記長・近藤修、などを選出し閉会しました。

# 志位和夫委員長と語り合う 対話集会 18問18答
## 丸ごと日本共産党がわかる
## 『志位委員長と18問18答』動画が好評

千葉県船橋市で開かれた対話集会(5月27日)を収録・編集した動画「志位和夫委員長と語り合う対話集会18問18答」が1万5千回視聴され好評です。

質問は、平和、外交、賃上げ、子育て、教育、ジェンダー平等、消費税など多岐にわたり、党への疑問にも答え、日本共産党がまるごとわかります。ぜひご覧ください。

例◇なぜ「長距離ミサイル」を持つの？　◇マイナンバーカード強制どう見る？　◇なぜ物価はあがっても賃金はあがらないの？　◇「異次元」より「普通」の少子化対策を！　◇消費税減税してほしいけど財政は大丈夫？　◇なぜ日本では再エネ利用がすすまないの？　などなど

↑ＹｏｕＴｕｂｅの日本共産党チャンネル「志位和夫委員長と語り合う対話集会１８問１８答」

# 教育と社会福祉の連携を
## 新日本婦人の会松江支部が学習会開催

新日本婦人の会松江支部がＳＳＷで社会福祉士の長廻芳行氏を講師に「学校と福祉の連携について～スクールソーシャルワーカー（ＳＳＷ）の実践から」と題して学習会を開催しました。

松江市役所新庁舎を会場に、保育士や看護師、保健師養護教諭などの専門家や市民17名が参加、角智子県議、中村ひかり市議、日本共産党から尾村利成、大国陽介両県議、舟木健治、たちばなふみ両市議が参加しました。

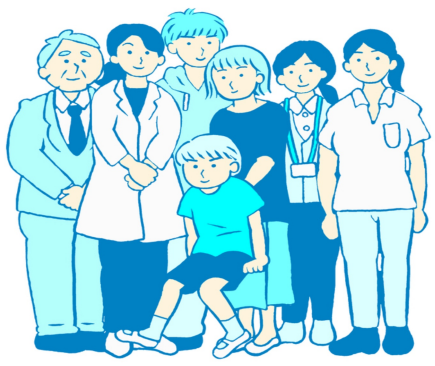
長廻氏の講演を熱心に聞く参加者

ＳＳＷとは社会福祉に関する専門的な知識や技術を有し、問題を抱えた児童・生徒に対し、当該児童・生徒が置かれた環境への働きかけや、関係機関等とのネットワークの構築など、多様な支援方法を用いて課題解決への対応を図っていく人材です。

講師の長廻氏は社会福祉士会の元事務局長で、島根大学人間科学部で社会福祉士の養成にも携わっており、社会福祉士、ＳＳＷの沿革や活用事業について、島根県、松江市、出雲市の取組の現状と課題について講演しました。

文科省によるＳＳＷ活用事業は２００８年にはじまり県・市でも取り組まれてきたが、専門家の配置・活用が不十分だと長廻氏は指摘。本来ＳＳＷは、教員と違う立場（子どもをジャッジしない）で子どもと関わり、困難があれば「環境に働きかけ」関係機関と連携し、問題解決を図るもの。国の基準によれば中学校区に１人配置としているが、松江市は中学校区に７名、派遣型で４名の配置。市内の中学校は15校、小学校32校、義務教育学校２校あり、校区配置の勤務は年間１８０時間とあまりに少ない。そのため、子どもと関わる時間を作れなかったり、就職先として考えられず、島根大学で養成されたＳＳＷ希望の若い社会福祉士がやむをえず他の仕事に就かざるを得なかった事例がある。鳥取県は週30～35時間の常勤配置だという。

ＳＳＷの派遣を経験した教員からは「専門家からアドバイスをもらい暗いトンネルの中で光がみえた」「外の情報を戴いて助かった。教員をしているとどうしても校内で諸問題を解決しようとしがち」「私たち教員が子どもたちとしっかり向き合っていく上でＳＳＷは欠かせない存在になっている」、教育委員会にＳＳＷ専用回線をとの声もあると話されました。



参加者から「学校で働くものとしてＳＳＷの力を学ぶチャンスがほしい」「学校現場で専門家の力も借りて不登校や学級の問題解決を」などの感想が寄せられました。

コロナ禍で困りごとを抱える家庭や生徒、不登校やいじめ、虐待が増え社会的課題となる中、福祉の専門家の目を学校現場で生かすことができるＳＳＷの活用が求められています。